

5 使徒の働き 2章 14-36節

待ち望む祈りのうちに時が満ち、昔ヨエルが預言し、イエス様もたびたび教え、約束しておられた聖霊が天から降り、その時の激しい物音、またガリラヤの無学な弟子たちが、いろんな国の言葉で神の大なる御業を証しているのを見て皆びっくりし、そこに神のみわざを感じる人もおれば、彼らは「酔って」いるのだとあざける者たちもいた。今日はそんな状況下のうちにペテロが聖霊に満たされて語る場面です。

1、ここに見るペテロから次のことを考えてみましょう。

①前の彼らは、ユダヤ人を恐れていたのではなかったでしょうか？ここで見るペテロはどうでしょうか？

②イエス様がおられる時には、イエス様の語っておられることがよくわからず、トンチンカンなことを言っていたのではなかったでしょうか？ここで見るペテロはどうでしょうか？

③このようにペテロを変えた要因は何だと思えますか？

※主はこれと同じような力を現代に生きるわたしたちにも与えることが出来ると思えますか？

2、(17.18) ここで言われている「わたしの霊を注ぐ」と「息子、娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る」という預言は、現在の私たちに実際、どう関係すると思えますか？

※(19.20) 恐ろしいような表現がなされています。これは 20 節にある「主の大なる輝かしい日が来る前に」というのをイエス様が語って下さったことから、主が再び来られる再臨と読めば、その前兆のようにこれらのような苦難というか、おそろいことが起こると理解することが出来ます。ただ感謝なことは 21 節の御言葉です。またこれは約束でもあります。ここに書き出してみましょう。

3、ペテロの証というか説教には「福音の要素」の一部が含まれています。一緒に探してみましょう。

①罪について (22.23)

②よみがえりについて (24-32)

※イエス様のよみがえりが私たちにもたらした希望について探してみましょう。

- ・(24)
- ・(25)
- ・(26)
- ・(27)
- ・(28)

※私たちが人々に、その苦しみ、問題の要因は「罪」から来ていることについて示して上げ、よみがえりが私たちにもたらしている素晴らしい希望について証してあげられたら幸いですね。

4、ペテロがユダヤ人たちに迫った悔い改めの言葉を書き記して、心に留めましょう。(36)

5、ここから神様(父、御子、御霊)はどのようなお方だと言えますか？